

令和8年度 第1回金沢市地球温暖化対策推進協議会 議事要旨

■日 時 令和8年5月21日(水) 14:30~16:00

■場 所 金沢市役所第二本庁舎 2階 2202 会議室

■出席者 (順不同、敬称略)

委員	市山 勉	金沢商工会議所環境委員会副委員長
	乙村 恵子	金沢エコライフくらぶ
	児玉 昭雄	金沢大学教授
	齋藤 毅	金沢大学講師
	円井 基史	金沢工業大学教授
	宮井 利之	金沢エコ推進事業者ネットワーク代表運営委員
	能木場 由紀子	金沢市校下婦人会連絡協議会会長
	山根 克巳	北陸電力株式会社石川支店総務部長
	橘 泰至	市民(公募)
	山田 瞳	市民(公募)

※欠席 神 和成 石川県木造住宅協会副会長

事務局	川端 淑愛	金沢市環境局長	
	宮田 久美子	金沢市環境局ゼロカーボンシティ推進課長	
	堤 宏平	同	課長補佐
	坂本 秋子	同	課企画庶務係長
	畑 誠人	同	温暖化対策係長
	相川 加織	同	主査
	奥谷 博考	同	主査
	前田 雄哉	同	主任
	森中 夏穂	同	主事

■会議次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 審議事項
  - (1) 令和8年度活動方針(案)
  - (2) 地球温暖化対策実行計画改定の方向性について
  - (3) 令和8年度事業(案)
    - ・普及啓発事業
    - ・かなざわエコフェスタ2026
4. 報告事項  
ゼロカーボンシティ推進課重点施策ほか
5. 閉会

## 1. 開会

(事務局)

- ・ただいまから令和8年度第1回金沢市地球温暖化対策推進協議会を開催する。開会にあたり、川端環境局長からご挨拶申し上げます。

(環境局長)

- ・本日は、お忙しい中ご出席を賜り感謝申し上げます。また、委員の皆様には、日頃から本市の環境行政に格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。
- ・本市では、国による2050年カーボンニュートラル宣言を受け、令和2年3月にゼロカーボンシティかなざわを宣言し、2050年までにCO2排出量を実質ゼロにするということを目指し掲げ、脱炭素に向けた様々な施策を推進しているところである。
- ・ゼロカーボンシティかなざわの実現には、市民、事業者、行政がそれぞれの役割と責任を持って取り組むとともに、各主体が連携協力した取り組みが必要であると考えている。委員の皆様におかれましては、引き続き本協議会の活動にご理解とご協力をいただくよう、お願いしたい。
- ・国が定める地球温暖化対策計画において、中長期的な予見可能性を高めるため、2035年及び2040年の中期目標が新たに設定された。このことから、本年、本市の温暖化対策の総合的な計画である、金沢市地球温暖化対策実行計画の改定をすることとした。改定に当たり、本協議会で議論を重ね、温室効果ガス排出量の中期削減目標を設定するとともに、実効性のある施策を検討して参りたいと考えている。委員の皆様のご協力をお願いしたい。限られた時間ではあるが、委員の皆様から忌憚のないご意見を賜るよう、よろしく願いしたい。

## 2. 委員紹介

### 3. 審議事項

#### (1) 令和8年度活動方針(案)

(事務局) 資料2をもとに説明

(会長)

特に意見がなければ、令和8年度活動方針(案)について、承認してよろしいか。

(異議なし)

#### (2) 地球温暖化対策実行計画改定の方向性について

(事務局) 資料3をもとに説明

(委員)

- ・再エネ電力の導入目標を発電量ではなく、発電容量(kW)にすることは良いと思う。発電した電力をどのように認識したらよいか課題と感じていた。発電容量で良いのではないかと考えている。
- ・国の目標はかなり高いのではないか。これまでの活動の延長でこれが達成できるのか、

知見があれば、各委員のコメントを頂きたい。

(委員)

- ・ 昨年もハードルが高いということは話させていただいた。その際の回答でも、現状の施策だけでは達成が難しいという話が出ていた。勝手な意見ではあるが、再開発を行う話が出ているが、そういった建物に、ペロブスカイト太陽電池を導入する際に、多少補助金を出すとといった大胆な施策を作らなければ達成は難しいのではないかと思う。

(委員)

- ・ 目標値を達成するために、どれくらいの太陽光等を設置すればよいのかとう試算はできないものか。

(会長)

- ・ 試算については、国が実施し、市はそれに従って動いていくことになるのではないか。そのほか、原子力発電などの話もある。どうしても国のエネルギー施策に大きく影響を受ける。国が舵をとり、そこに従って、できる範囲で市が少しプラスで特徴のあることができれば、効果は小さくても何か出せるのではないか。
- ・ お金のかかる話ではあるが、個人的には新しいビルは基本的にネットゼロで建てないといけないと感じている。東京などでは既にそうなっている。うまくするとそういった建物が、環境教育にも使えるのではないか。協議会としてそういった効果に期待したい。

(委員)

- ・ 重点施策の「地域における脱炭素の基盤構築」とは具体的にどういうことをイメージされているのか。また、重点施策と施策の方向性についても関連性をご説明いただきたい。

(事務局)

- ・ 基盤構築というとハードをイメージしやすいが、ソフトの部分で考えている。人的な繋がりやその強化を指している。例として、事業者用太陽光発電設備補助制度は、昨年度から始めているが、国の交付金を取り込んでおり、国からも単に設備投資で終わるのではなく、地域に何か残るように基盤構築してほしいと言われている。今年度より、補助金活用者には金沢エコ推進事業者ネットワークへの加入を要件化し、他の事業者とともに脱炭素について学んでいただいている。その他、石川中央都市圏内の自治体職員間での担当者会議も実施し、情報共有やノウハウの共有をしているため、このような人的なつながりをさらに強化していくことを考えている。
- ・ 重点施策と施策等の見せ方については、これから内容を検討し、関連性が分かりやすくなるよう、工夫して参りたい。

(委員)

- ・ 住宅、事業所における再エネ設備の導入推進とあるが、売電目的の太陽光より、自家消費型の太陽光を優先するなど、一般の方の再エネ賦課金の負担の増につながらないものになればと思っている。

(事務局)

- ・ 売電を目的とした過度な太陽光の設置事例もあり、国は再エネ賦課金の運用等にあたり、

メガソーラーへの支援の打ち切りを決定した。地域の理解が大前提での設置となるため、国の動向を確認しながら適切な導入となるよう検討していきたい。

(委員)

- ・施策の方向性についてまちづくりというニュアンスが少し薄れているように感じるため、まちづくり的な要素を入れていただけるようお願いしたい。

(事務局)

- ・現状の例示としては記載されていないが、国の施策にも載っているため、市としても検討して参りたい。
- ・建物は1回建ててしまうとそこから温室効果ガスを出し続けてしまうため、再開発などのまちづくりの際、最初に環境性能の高い建築物を建てるのが大切である。現在、金沢駅、武蔵ヶ辻、香林坊、片町エリアにZEB水準の建物を建築する際に、当課で補助金を出す施策を実施している。そのような事業の継続や、さらに盛り込める施策がないか、考えていきたい。

(委員)

- ・施策の方向の中にある、中小企業を含めたサプライチェーン全体の脱炭素化が一番下に記載されているが、これは意図的なものなのか。また、スコープ3の観点も分かるが、金沢の特徴としても中小企業が多いとも思う。
- ・また、温室効果ガス排出量の削減率について、傾斜のかかり方が違うように感じるが、その理由がわかるのであればお教えいただきたい。

(事務局)

- ・記載の2030年度の目標については、金沢市の目標であり、国の目標値は46%となっている。46%から比較すると、それぞれ5年後に14%削減、さらにその5年後に13%削減と端数の調整は分かりかねるが、概ね同じ傾斜の目標となっている。
- ・施策の例示についての順番に優先順位などに現時点で意味はなく、新しい視点として追加したもの。北陸地域においては、中小企業同士が連携し、逆に強みにしていこうという企業もあるため、事例の紹介をするなど、新しい要素として加えていきたいと考えている。

(会長)

- ・重点施策に情報発信の強化もあるため、せっかくやるのであれば、市民に伝わるような具体例を示していただければと思う。
- ・現行計画の基本理念について、金沢市が主導で実施するという感じに読めてしまうので、せっかく市民・事業者と一緒に進める施策も検討しているのであれば、今回の改定に合わせて、基本理念の修正についても検討してみてもどうか。

(会長)

- ・色々ご意見いただきましたが、それらを考慮しつつ骨子素案を作成するというので、承認してよろしいか。

(異議なし)

### (3) 令和8年度事業(案)

(事務局) 資料4、5をもとに説明

(委員)

- ・小学生などの若い子供たち世代向けの内容が多いという印象。将来的な話かもしれないが、高校生などの高めの年齢層への啓発があっても良いのではと思う。

(事務局)

- ・昨年、子育て世代へのアプローチを強化してはという意見があったため、その要素を取り入れている。しかし、ご指摘の通り、高校生のアプローチは弱いと感じる。将来を見越すと若い世代への啓発が必要であるため、高校生向けの施策等についても検討してみたいと思う。

(委員)

- ・ペロブスカイトに注目が集まっている。こういうものを啓発で発信させることは難しいか。

(事務局)

- ・昨年のエコフェスタでもパナソニックがペロブスカイトの映像を流していた。高市政権としても推しているものである。ただし現状、まだ水に弱いことや非常に高額なこともあり、まだまだ課題も多い。開発のスピードも見ながら、取り組めるものは取り組んで参りたい。

(委員)

- ・こども体験型イベントについて、参加人数20組40人をもう少し増やすことはできないか。
- ・いしかわ環境フェアでの出展について、もう少し工夫できることはないか。

(事務局)

- ・こども体験型イベントについては、今回初めてのイベントであり、自前のイベントのため、まずはスモールスタートでの実施を考えている。
- ・いしかわ環境フェアについて、ノウハウもたまってきているので、何かできないか検討していきたい。

(委員)

- ・昨年度の天達さんの地球温暖化講演会はとてもよかった。良いものは続けていただきたい。

(委員)

- ・エコフェスタのチラシなどについては、金沢商工会議所で配り周知することも可能だと思う。

(会長)

- ・色々のご意見いただきましたが、反映できるものは調整いただくこととして、承認してよろしいか。

(異議なし)

#### 4. ゼロカーボンシティ推進課重点施策ほか

(事務局) 資料6をもとに説明

(委員)

- ・脱炭素化を進めるうえで、公共施設での取組と民間企業での取組があり、後者の部分はコントロールができるものではないため、公共施設での取組を進めるうえで、取組の全体像を把握することは大切ではないか。例えば、各施設で使用する電力をすべて再生可能エネルギーとするには、どのような方法が考えられ、どの程度の設備容量が必要になるのかを把握するなど。もちろん、予算の問題もあるので、すべて実現するということは非常に難しいところでもあるかと思うが、可能な範囲で、意識してみたいか。

(委員)

- ・校下婦人会としてもゴミが出ないように周知するとともに、フードドライブ活動も継続していきたい。

#### 5. 閉会

(環境局長)

- ・市有施設について、全体像を見渡しながら、中長期的なプラン実施していけるよう計画を見直し、来年度できるものは来年度に、将来的に取り入れたいものは計画に取り入れるなど、引き続きご意見いただきながら良い計画となるよう進めていきたい。

(事務局)

- ・委員の皆様には長時間にわたり熱心にご協議いただき、誠に感謝申し上げます。以上で、令和8年度第1回金沢市地球温暖化対策推進協議会を閉会する。